

2005年11月14日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治
 コード番号 8233

2005年10月度 高島屋営業報告

【総計】(前年対比、単位：%)

株高島屋計	分社4店含む実質
+2.4	+3.0

広域事業は前年実績を下回ったものの、百貨店事業が前年実績をクリアした結果、分社4店含む実質では+3.0%となった。

分社4店とは、関西地区の**岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋**、関東地区の**高崎高島屋**です。

【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
+2.9	+3.5

カード会員向けのキャンペーンや各店の営業施策の奏功、昨年の台風影響の反動等から、18店中で13店が前年実績をクリアした。関西地区は+3.4%、関東地区が+3.6%、18店計では+3.5%。

【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大阪店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	+1.7	+2.6	1.1	+4.8	+33.4	7.8
入店客数	0.6	0.1	+2.7	+4.6	+39.2	11.3

関西地区合計	
分社3店除く	9店計
+1.8	+3.4

大阪店の売上高には**和歌山店・堺店**の売上高を、京都店の売上高には**洛西店**の売上高をそれぞれ含みます。

大阪店・京都店の入店客数はそれぞれ**単店**になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+3.2	+8.6	1.0	+0.8	0.5	+1.3	0.5	+7.2
入店客数	0.2	+2.1	3.7	0.5	+4.2	1.0	2.2	+3.2

関東地区合計	
分社1店除く	9店計
+3.4	+3.6

横浜店の売上高には**港南台店**の売上高を含みます。

横浜店の入店客数は**単店**になります。

店別では大阪店・京都店・東京店・横浜店の大型4店に加え、岡山店・岐阜店・玉川店・大宮店・高崎店等の13店が前年実績をクリアした。京都店は6月以来4ヵ月ぶりで前年実績を上回り、大阪店・東京店は2ヵ月連続、横浜店・岡山店は6ヵ月連続、玉川店は4ヵ月連続、高崎店は8ヵ月連続で好調を維持した。関西地区の大阪店・京都店の大型2店は紳士・婦人の衣料品・雑貨が堅調に推移した。10月1日にリニューアルオープンした岐阜店は売上高・入店客数ともに前年実績を大きく上回り、改装効果を発揮した。関東地区では、東京店は特選衣料雑貨が売上高を2桁伸ばし、横浜店も特選衣料雑貨や宝飾品といった高額商品群や食料品が好調で前年実績を大きく上回った。一方、新宿店は宝飾品・食料品等が前年実績を上回るもののファッション商品群が伸び悩んだ。

【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域計
売上高	8.2	+2.8	3.6

法人事業は前年実績のある大口物件(周年記念品等)の反動減等の影響で伸び悩んだ。通販事業は婦人ファッション商品群やリビング・食料品が好調で前年実績をクリアした。

【商品別概況(百貨店協会商品区分)】(前年対比、単位：%)

	分社4店除く	18店計
紳士服・洋品	+0.6	+1.0
婦人服・洋品	+0.9	+1.6
子供服・洋品	3.9	3.8
その他衣料品	+3.4	+3.9
衣料品計	+0.6	+1.2

	分社4店除く	18店計
身のまわり品	+3.8	+4.4
家具	4.3	5.1
家電	+1.0	+0.1
その他家庭用品	+3.2	+3.2
家庭用品計	+0.9	+0.7

	分社4店除く	18店計
食料品	+5.0	+6.1
食堂・喫茶	+6.7	+8.7
雑貨	+2.3	+2.7
サービス	+1.3	+3.5
その他	+0.5	+1.1
合計	+2.4	+3.0

当社分類による百貨店事業の商品別概況

比較的暖かな天候が続いたことから、紳士服(前年対比+1.5%)・婦人服(同+1.9%)ではコート、紳士雑貨(同+2.0%)・婦人雑貨(同+4.7%)ではマフラーや手袋等の防寒アイテムの出足が伸び悩んだ。一方、紳士関連ではスーツやワイシャツ、ネクタイ等が好調で前年実績をクリアした。また、婦人服はヤング・キャリアゾーンが引き続き好調、アイテムではボトムスの全般的な好調に加え、起毛素材や圧縮ワール・極薄中綿、マルボト用使い等のジャケットにも動きがあった。婦人雑貨ではブーツやパンプス等が好評な婦人靴、化粧品等が好調であった。特選衣料雑貨(同+6.7%)は関東地区の売上高が2桁伸び、関西地区の伸び率を上回る傾向が続く。但し、関西地区の伸び率は前月に比べて回復した。宝飾品(同+3.8%)は4ヵ月ぶり、食料品(同+5.6%)は5ヵ月連続で前年実績をクリアした。